

各位

全4ページ
登録速報(2026-100)
2026年7月22日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記のとおりペントキサゾンの再評価が終了になりましたので、ご連絡します。

再評価終了年月日：2026年7月22日

記

1. 農薬の種類、登録番号及び名称

種類：ピリミノバックメチル・ブロモブチド・ベンスルフロンメチル・
ペントキサゾン剤

登録番号：第24378号

名称：トップガンRジャンボ

2. 農薬の物理的・化学的性状

淡褐色粒状 水溶性パック入り 1パック 25g

3. 農薬の有効成分の種類及び含有濃度

メチル=2-(4,6-ジメチルピリミジン-2-イルオキシ)-6-(1-メチルイミノエチル)ベンゾエート	1.8%
(RS)-2-ブロモ-N-(α , α -ジメチルベンジル)-3,3-ジメチルブチルアミド	36.0%
メチル= α -(4,6-ジメチルピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-o-トルアート	3.0%
3-(4-クロロ-5-シクロペンチルオキシ-2-フルオロフェニル)-5-イソプロピルピリデン	
-1,3-オキサリジン-2,4-ジオン	8.0%

4. 農薬のその他の成分の種類及び含有濃度(15に掲げる事項を除く。)

鉱物質微粉等	51.2%
--------	-------

5. 農薬の適用病害虫の範囲、使用方法及び使用期限

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ クログワイ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ /ビエ2.5葉期 但し、移植後 30日まで	小包装（ハッ ク）10個 （250g）/10a	1回	水田に小包装 （ハック）のまま 投げ入れる。
直播 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ /ビエ2.5葉期 但し、収穫 90日前まで			

ピリミノバックメチル を含む農薬の総使用回 数	プロモブチドを含 む農薬の総使用回 数	ベンスルフロンメチル を含む農薬の総使用回 数	ペントキサゾンを含 む農薬の総使用回 数
2回以内	2回以内	2回以内	2回以内

使用期限：5年

6. 農薬の使用上の注意事項（8に掲げる事項を除く。）

- (1) 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきることを。
- (2) 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2. 5葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ウリカワは2葉期まで、オモダカ、クログワイは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。
- (3) オモダカ、クログワイ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、有効な後処理剤と組み合わせて使用すること。
- (4) 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- (5) 散布の際は、やや深めの湛水状態（水深5～6cm）にして水の出入りを止めること。
- (6) 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、入水は静かにおこなうこと。
- (7) 本剤は小包装（パック）のまま10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れること。
- (8) 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、使用はさけること。
- (9) パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意すること。
- (10) 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - ①砂質土壌の水田および漏水田（減水深2cm/日以上）。
 - ②軟弱苗を移植した水田。
 - ③極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田。
- (11) 直播水稻に使用する場合は以下に注意すること。
 - ①発芽直後の稲に対して薬害を生じるおそれがあるので、適切な覆土を行い、稲の1葉期以降に散布すること。
 - ②稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。
 - ③除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布すること。
- (12) 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- (13) 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないこと。
- (14) 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。
- (15) 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわい等の生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意すること。
- (16) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

7. 人畜に有毒な農薬については、その旨、使用に際して講ずべき被害防止方法及び解毒方法

(1) 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

ア 農薬使用者に係る注意事項

① 毒性情報

1) 眼に対して強い刺激性がある。

2) アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。

② 安全上の注意

本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、通常的使用方法では安全上の注意事項はない。ただし、濡れた手で触らないこと。

③ 応急処置

水溶性フィルムが破袋した場合は以下の点に注意すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の手当を受けること。

(2) 使用に際して講ずべき被害防止方法

該当なし

8. 生活環境動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。
- (3) 空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

9. 引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨
通常的使用方法ではその該当がない。

10. 農薬の貯蔵上の注意事項

製剤は吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管すること。

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

以上